

ディスコグラフィー収録

ディスコグラフィー【2018No.97】(HP 収録)

分類：MQA/UHQCD

作曲家：モーツァルト

曲名：交響曲第 40 番・第 41 番

演奏：カール・ベーム指揮ベルリンフィル

発売：Universal Music

No. : UCCG-40071

概要：



発売元のサイトには次のような解説があります。

「モーツァルト交響曲全集を史上初めて完成させたベーム(全集は1970年度レコード・アカデミー賞受賞)。その全集から最後の2曲を収めたアルバムで、正確無比なテンポ感と確信に満ちた造形による演奏は、古楽演奏全盛の現在でも全く色褪せない魅力を放っています。(1961/1962年録音/2011年マスター)

★オリジナル・テープから独 Emil Berliner Studio にて 2011 年に制作した DSD マスターを 352.8 kHz/24bit に変換して収録

★解説付

※本シリーズは当初、DSD マスターを 176.4kHz/24bit に変換して収録する予定で、商品の外装(帯)にもそのように表記していますが、制作段階において、より音質面でのアドバンテージが認められた、352.8 kHz/24bit での収録に変更させていただきました。※ハイレゾ CD 名盤シリーズは、全ての CD プレーヤーで再生可能(44.1kHz/16bit)な高音質 CD (UHQCD)です。

※MQA 対応機器を使用すれば、元となっているマスター通りのハイレゾ・クオリティで再生することができます。

※本シリーズは当初、DSD マスターを 176.4kHz/24bit に変換して収録する予定で、商品の外装（帯）にもそのように表記していますが、制作段階において、より音質面でのアドバンテージが認められた、352.8 kHz/24bit での収録に変更させていただきました。」

録音年：1961年12月、1962年3月

録音場所：ベルリン、イエス・キリスト教会

収録曲：

モーツァルト：交響曲 第40番 ト短調 K.550

第1楽章: Molto allegro

第2楽章: Andante

第3楽章: Menuetto. Allegretto

第4楽章: Allegro assai

モーツァルト：交響曲 第41番 ハ長調 K.551 《ジュピター》

第1楽章: Allegro vivace

第2楽章: Andante cantabile

第3楽章: Menuetto. Allegretto

第4楽章: Molto allegro

BrooklynDAC+の借用期間中であつたので、MQA-CDとして聴くことができました。

40番の1楽章は、[ディスコグラフィー【2018No.93】](#)にも入っていたものです。

ディスコグラフィー [【2018No.93】](#) から [【2018No.96】](#) で報告したMQA-CDは通常のCDとして聴いていましたが、やはりMQAのデコードで聴くと、音質面でメリットが出てきます。

演奏は、さすが指揮がベームとあつて、甘美に走ることなく、壮大さを誇示することなく、オーソドックスなモーツァルトと言えます。

BrooklynDAC+の条件設定には不明の点もあり、機会があれば、十分に理解してから再度聴きなおしてみたいと思います。

以上